

共催：

千葉大学附属病院臨床腫瘍学チーム

千葉大学総合医療教育研修センター



テーマ（CPC形式による症例呈示とレビュー）/オーガナイザー：平井真紀子

卵巣がん：術前化学療法の意義

日時：11月29日（水）6時

場所：千葉大学附属病院3階 第一講堂

参加対象者

各診療科、がん診療担当専門医
看護師、薬剤師
後期、初期研修医
4～6年次学生
製薬メーカー担当者

多数のご参加歓迎いたします。

<開催趣旨>

診療科横断的ながん診療を専門的にサポートする目的で、臨床腫瘍学チームが結成されました。

主な目的は、

1. 臨床腫瘍学専門医を目指す研修医のための後期研修プログラムの運営と研修支援
2. 院内がん診療に対する診療科横断的診療支援
3. 院内がん登録、がん診療拠点病院化などの施設環境整備

となっております。これら活動の一環として、オンコロジーカンファレンスを定期的を開催することになりました。全科に共通する話題はもちろん、がん診療に携わる専門家は他臓器悪性腫瘍の治療方法にもある程度精通し、専門の診療、研究に応用可能な情報に常に接していることが重要であるという観点からカンファレンスを企画いたします。医師、看護師、薬剤師以外に、初期研修医、後期研修医、意欲ある学生にも役立つ内容を目指します。

問い合わせ先： 千葉大学 臨床腫瘍学チーム事務局 滝口裕一

電話：043-226-2577（呼吸器内科医局直通） e-mail：takiguchi@faculty.chiba-u.jp